

貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	1,852,470	固定負債	779,756
有形固定資産	1,852,470	地方債	650,466
事業用資産	1,841,204	長期未払金	-
土地	582,177	退職手当引当金	125,290
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	1,257,280	その他	4,000
建物減価償却累計額	△1,091,676	流動負債	200,000
工作物	4,068,191	1年内償還予定地方債	188,814
工作物減価償却累計額	△2,974,769	未払金	-
船舶	-	未払費用	-
船舶減価償却累計額	-	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	10,637
航空機	-	預り金	548
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-		
その他減価償却累計額	-	負債合計	979,756
建設仮勘定	-		
【純資産の部】		固定資産等形成分	1,852,470
【純資産の部】		余剰分(不足分)	△941,936
インフラ資産	-		
土地	-		
建物	-		
建物減価償却累計額	-		
工作物	-		
工作物減価償却累計額	-		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	-		
物品	45,767		
物品減価償却累計額	△34,501		
無形固定資産	-		
ソフトウェア	-		
その他	-		
投資その他の資産	-		
投資及び出資金	-		
有価証券	-		
出資金	-		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	-		
長期貸付金	-		
基金	-		
減債基金	-		
その他	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
流動資産	37,820		
現金預金	37,820		
未収金	-		
短期貸付金	-		
基金	-		
財政調整基金	-		
減債基金	-		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	-		
資産合計	1,890,289	純資産合計	910,534
		負債及び純資産合計	1,890,289

行政コスト計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
経常費用	1,136,107
業務費用	1,095,339
人件費	157,668
職員給与費	132,889
賞与等引当金繰入額	10,637
退職手当引当金繰入額	13,025
その他	1,117
物件費等	928,975
物件費	582,216
維持補修費	185,115
減価償却費	161,383
その他	261
その他の業務費用	8,696
支払利息	7,802
徴収不能引当金繰入額	-
その他	894
移転費用	40,769
補助金等	40,706
社会保障給付	-
他会計への繰出金	-
その他	63
経常収益	192,908
使用料及び手数料	191,600
その他	1,309
純経常行政コスト	943,199
臨時損失	0
災害復旧事業費	-
資産除売却損	0
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	-
臨時利益	-
資産売却益	-
その他	-
純行政コスト	943,199

純資産変動計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

(単位:千円)

科目	合計	固定資産 等形成分	
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	888,655	1,997,113	△1,108,457
純行政コスト(△)	△943,199		△943,199
財源	965,078		965,078
税込等	965,078		965,078
国県等補助金	-		-
本年度差額	21,879		21,879
固定資産等の変動(内部変動)		△144,643	144,643
有形固定資産等の増加		16,740	△16,740
有形固定資産等の減少		△161,383	161,383
貸付金・基金等の増加		-	-
貸付金・基金等の減少		-	-
資産評価差額	-	-	-
無償所管換等	-	-	-
その他	-	-	-
本年度純資産変動額	21,879	△144,643	166,522
本年度末純資産残高	910,534	1,852,470	△941,936

資金収支計算書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

(単位:千円)

科目	金額
【業務活動収支】	
業務支出	961,281
業務費用支出	920,512
人件費支出	144,224
物件費等支出	768,486
支払利息支出	7,802
その他の支出	-
移転費用支出	40,769
補助金等支出	40,706
社会保障給付支出	-
他会計への繰出支出	-
その他の支出	63
業務収入	1,157,986
税込等収入	965,078
国県等補助金収入	-
使用料及び手数料収入	191,600
その他の収入	1,309
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
業務活動収支	196,705
【投資活動収支】	
投資活動支出	16,740
公共施設等整備費支出	16,740
基金積立金支出	-
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	-
その他の支出	-
投資活動収入	-
国県等補助金収入	-
基金取崩収入	-
貸付金元金回収収入	-
資産売却収入	-
その他の収入	-
投資活動収支	△16,740
【財務活動収支】	
財務活動支出	187,286
地方債償還支出	187,286
その他の支出	-
財務活動収入	-
地方債発行収入	-
その他の収入	-
財務活動収支	△187,286
本年度資金収支額	△7,320
前年度末資金残高	40,592
本年度末資金残高	33,272
前年度末歳計外現金残高	4,636
本年度歳計外現金増減額	△87
本年度末歳計外現金残高	4,548
本年度末現金預金残高	37,820

注 記

1 重要な会計方針

(1) 有形固定資産の評価基準及び評価方法

有形固定資産……………取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和 59 年度以前に取得したもの……………再調達原価

イ 昭和 60 年度以後に取得したもの

取得原価が判明しているもの……………取得原価

取得原価が不明なもの……………再調達原価

(2) 有形固定資産等の減価償却の方法

有形固定資産……………定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物 15 年～50 年

工作物 17 年～20 年

物品 4 年～15 年

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

① 退職手当引当金

期末自己都合要支給額を計上しています。

② 賞与等引当金

翌年度 6 月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

(4) リース取引の処理方法

① ファイナンス・リース取引

ア 所有権移転ファイナンス・リース取引（リース期間が 1 年以内のリース取引及びリース料総額が 300 万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。（該当はありません。）

イ ア以外のファイナンス・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

② オペレーティング・リース取引

通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

(5) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（歳計現金等の保管方法として規定した預金等を

いいます。)

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受払いを含みません。

(6) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

② 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が20万円以上の場合に資産として計上しています。

2 追加情報

(1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

① 一般会計等財務書類の対象範囲は次のとおりです。

一般会計

② 地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③ 千円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

(2) 貸借対照表に係る事項

売却可能資産の範囲の範囲及び内訳は、次のとおりです。

該当事項はありません。

(3) 純資産変動計算書に係る事項

① 純資産における固定資産等形成分及び余剰分（不足分）の内容

ア 固定資産等形成分

固定資産の額を計上しています。

イ 余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

(4) 資金収支計算書に係る事項

① 基礎的財政収支 187,768千円

② 既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	1,157,986千円	1,165,306千円
資金収支計算書	1,157,986千円	1,165,306千円

歳入歳出決算書の歳入には繰越金は含まれていません。

③ 資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額

資金収支計算書

業務活動収支	196,705	千円
減価償却費	△161,383	千円
賞与等引当金の増加額	△419	千円
退職手当引当金の増加額	△13,025	千円
資産除売却損	△0	千円
純資産変動計算書の本年度差額	21,879	千円

④ 重要な非資金取引

該当事項はありません。